社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年04月07日

計画の名称	みどりの「環」となる公園・緑地整備計画												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	山形市												
計画の目標	人と「みどり」の環が広がるまち山形 中心市街地における特色ある公園・緑地づくり（歴史・文化資源を活かした整備、中心市街地の活性化） 身近な公園・緑地づくり（都市公園の整備、公園空白区域の解消、減災の観点による整備、地球温暖化の緩和） 魅力ある公園・緑地づくり（公園ストックの再編、民間活力の導入）												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,196	A	1,196	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1末	R4末	R6末
1	一人あたりの公園面積を16.29㎡から16.32㎡に増加させる 一人あたりの公園面積の割合を算出する 一人あたりの公園面積 = 都市公園等開設面積 / 都市計画区域内人口（㎡/人口）	16㎡	16㎡	16㎡
2	蔵王みはらしの丘地区において、計画人口に対する居住達成度を51.84%から52.36%に増加させる 計画人口に対する居住達成度の割合を算出する 計画人口に対する居住達成度 = 居住者数（人） / 計画人口（7,000人） × 100	51%	52%	52%
3	中心市街地活性化基本計画区域内の公示価格を上昇させる 公示価格を計上する 中心市街地活性化基本計画区域内における地価変動（地価公示・県地価調査）	131700円/㎡	132400円/㎡	132800円/㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	山形市	直接	山形市	-	-	グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(蔵王みはらしの丘)	蔵王みはらしの丘6号公園等の整備 4.47ha	山形市						79	-		
	継続																			
	A12-002	公園	一般	山形市	直接	山形市	-	-	中心市街地活性化広場公園整備事業	5公園の再整備・1公園の新設 3.2ha	山形市						255	-		
	継続																			
	A12-003	公園	一般	山形市	直接	山形市	-	-	都市公園事業(霞城公園)	霞城公園北側エリア等の整備 20.6ha	山形市						62	-		
	継続																			
	A12-004	公園	一般	山形市	直接	山形市	-	-	都市公園ストック再編事業(西部工業団地)	2公園の再編 4.9ha	山形市						800	1.03	-	
	継続																			
												小計						1,196		
												合計						1,196		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証した。	令和7年度（整備計画の年度完了の翌年度）
	公表の方法
	山形市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	地球温暖化の緩和と中心市街地活性化につながる公園の整備が完了したことで、蔵王みはらしの丘地区における居住達成度及び中心市街地活性化基本計画区域内の公示価格の上昇が図られた。しかし、都市計画区域における人口の増などにより、全ての目標を達成することが出来なかった。目標を達成するため、新しい整備計画に基づき引き続き事業を進め、事業効果の発現を図る。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
グリーンインフラ活用型都市構築支援事業（蔵王みはらしの丘）及び都市公園ストック再編事業（西部工業団地）においては、新しく策定した整備計画を基に引き続き事業を進めていく。	